

2011-B					
拠出金・基金の名称:		アフリカ稲センター拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 国際農業研究協議グループ(CGIAR)/アフリカ稲センター(Africa Rice)					
【所管官庁担当局課・室名】: 農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 ・アフリカ内陸低湿地における持続的稲作技術実証・普及事業 西アフリカの内陸低湿地を対象とし、農民参加型の持続可能な稲作生産体系技術を実証・普及する事業を実施。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成23年度	56,535	635	-	1米ドル = 89円	100
平成22年度	62,170	661	-	1米ドル = 94円	100
平成21年度	64,035	622	-	1米ドル = 103円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 ・アフリカ内陸低湿地における持続的稲作技術実証・普及事業 西アフリカの内陸低湿地を対象として、農民参加型の持続可能な稲作生産体系技術の実証・普及を通じて、中長期的生産性向上を支援するものであり、平成23年度の実績として、事業対象2ヶ国(ベナン、トーゴ)において、合計10ヶ所の実証圃場候補地を選定及び開発に着手しており、当初の政策目標である実証圃場12ヶ所の設置等に向けて着実に進捗していることから、目標の達成が見込まれ、成果が期待できることから、我が国として高く評価できる。 なお、アフリカ稲センターには、邦人研究者が理事として参画するとともに、我が国が理事国として関与する国際農業研究機関協議グループ(CGIAR)の1機関として、合理化、機能強化のための改革を進めている。					